

本県の豪雨による企業活動への影響と河川の整備状況

交通網や操業への多大な影響（2000年9月 東海豪雨）



交通機関	道路：通行止め	東名高速道路・名古屋IC～春日井IC	11日22:00～12日12:20 [約14時間]	46,000台
		中央自動車道・多治見IC～小牧JCT	11日19:30～12日12:20 [約17時間]	33,000台
		国道1号・名古屋市熱田区等	12日0:30～12日13:30 [約13時間]	28,000台
鉄道：運行見合わせ		東海道新幹線・三河安城～岐阜羽島	11日16:50～12日14:23 [約22時間]	14万人
		名古屋鉄道・名古屋本線、犬山線等	11日15:47～13日22:45 [約55時間]	75万～80万人
		名古屋市地下鉄・名城線・鶴舞線・桜通線	11日19:55～13日15:00 [約43時間]	約40万人

他地域の経済活動への波及	トヨタ自動車	全国24工場(関連会社9社含む)で生産停止し、完成車ベースで約17,000台の生産先送り。(日経新聞)
	ダイハツ工業	池田工場、京都工場、滋賀工場で部品供給が途絶えたため操業停止。(岐阜新聞)
	アイシン軽金属(富山県新湊市)	12日早朝に現地に到着するはずのトラック便が愛知県に入らず立ち往生。12日操業停止。(北國新聞)
	トヨタ自動車九州	東海地方の物流が停止し、12日午後3時から始める予定であった夜間帯の生産ラインを停止(中日新聞)
	マツダ	東海理化西枇杷島工場の操業停止で、四国地方の2工場の生産を一部停止(中日新聞)
	富士重工業	名古屋地区からの部品納入が滞り、矢島工場(群馬県太田市)が14日、15日操業を停止(日経新聞)

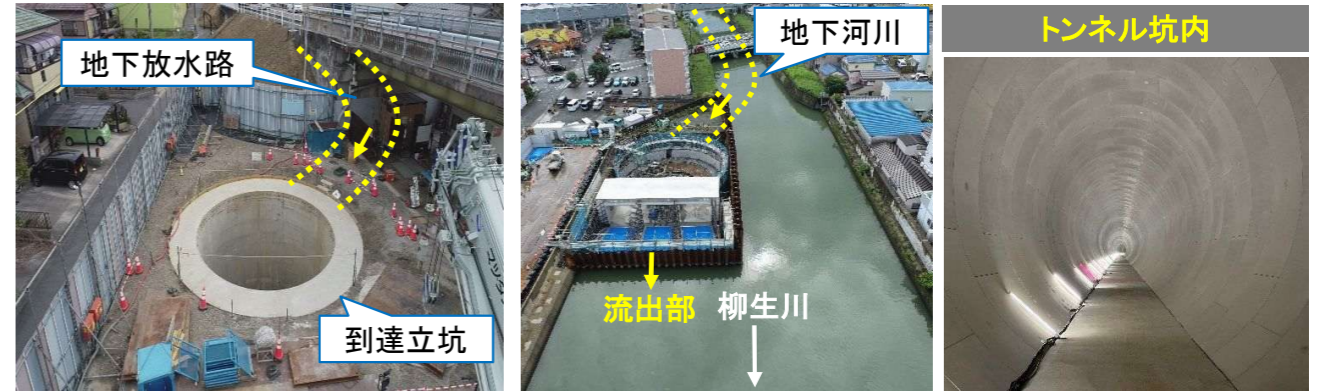
2023年6月豪雨による交通網への影響

交通機関	道路：通行止め	東名高速道路・豊川IC～岡崎IC 等	6月2日17:00～3日21:30頃 [約29時間]
		東海道新幹線・豊橋～三河安城 等	6月2日14:45～3日12:00頃 [約21時間]
	鉄道：運行見合わせ	JR東海道本線・豊橋～岡崎 等	6月2日14:00～3日10:40頃 [約21時間]
		名古屋鉄道・豊橋～本宿 等	6月2日14:10～3日10:00頃 [約20時間]

整備状況 (2024年度末時点 名古屋市含む)

県管理河川の総延長	約1,800km
河川整備が必要な河川延長	約1,200km
河川整備率	約55%
河川整備が不要な河川延長(山間部の河川など)	約600km

暮らしと経済を支える あいちの水防災事業の推進



大規模特定河川事業
日光川2号放水路

大規模特定河川事業
柳生川(地下河川)



2000年9月12日東海豪雨
清須市浸水状況



2023年6月2日豪雨
豊川市浸水状況

2025年10月

愛知県
名古屋市
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

暮らしと経済を支えるあいちの水防災事業の推進

愛知県は、日本最大のゼロメートル地帯を始めとする低平地などに生活、産業基盤が集積し、約 600 kmに及ぶ海岸線を有しています。また、人口約 750 万人が暮らし、製造品出荷額等においては約 58 兆円と 47 年連続日本一であり、我が国の国際競争力をリードするものづくり県となっています。

そうした中、ひとたび大規模な洪水や高潮、巨大地震に伴う津波が発生した場合、その浸水により**多くの人命が危機に晒される**とともに、この地域を始めとする産業が機能停止、サプライチェーン寸断がもたらす操業停止や長期間にわたる生産量が低下し、**極めて甚大な経済損失が発生**します。

本県では、2023 年の 6 月に、県東部において線状降水帯が発生し、東海豪雨に匹敵する記録的な大雨となり、東三河地域を中心に多くの被害が生じました。また、2000 年の東海豪雨では、**死者 7 名、床上浸水約 28,000 戸**を始め大きな被害が発生するとともに、浸水被害により部品供給が途絶え、**全国各地の工場の生産が一時停止**する事態となりました。また、近年の企業活動のネットワーク化に伴い、浸水災害の及ぼす影響は以前にも増して、複雑かつ広域化しています。

近年の**気候変動に伴い気象災害は激甚化・頻発化**し、加えて、南海トラフ地震の発生が切迫しております。

このような中、「**危機に強い愛知**」をつくるための**河川・海岸事業**として、県民の生命・財産を守るとともに、被害を最小限に抑え速やかに経済活動を再開していくため、これまで、「**防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策**」を積極的に活用し、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための**対策**や、**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**など、「**流域治水プロジェクト**」に基づきハード、ソフト一体の**事前防災対策**を加速してまいりました。その結果、**河道拡幅等の実施河川数を大幅に増加**させるなど、**着実に効果を発揮**しております。

今後とも、県民の安全な暮らしを確保するとともに、当地域の産業が国際競争に打ち勝ち、日本経済を支える大きな核として発展していくためには、

洪水、高潮、地震・津波対策などの**事前の水防災事業**を重点的に取り組むことが極めて重要であります。そのため、次の事項について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 「**第 1 次国土強靱化実施中期計画**」に基づく、**防災・減災・老朽化対策を含む取組**を切れ目なく、強力に推進するため、近年の資材価格や人件費の高騰の影響等を予算編成過程で適切に反映し、**激甚化・頻発化する気象災害を踏まえ、計画的な事業執行が可能となるよう、当初予算を含め、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保**すること。
- 頻発・激甚化する水害に備えるため、庄内川枇杷島地区狭窄部における特定構造物の改築、矢作川鶴の首地区の狭窄部の河道整備など、**国において木曾川、庄内川、豊川及び矢作川の治水対策を強力に推進**すること。
- 本県が取り組む**流域治水対策の推進**や日光川 2 号放水路及び柳生川の地下河川を始めとする短期間に多額な事業費が必要となる大規模構造物の整備を計画的かつ重点的に推進できるよう、**補助事業及び防災・安全交付金事業により支援**すること。

本県の重点施策

- ・流域治水対策の推進
 - ・大規模特定河川事業等による事前防災対策
〈日光川 2 号放水路、柳生川、広田川、砂川、家下川〉
 - ・河川・海岸施設の老朽化対策
 - ・南海トラフ地震に備える地震・津波対策
 - ・住民の速やかな避難に結びつくソフト対策への支援
- 愛知県の経済は、全国の産業と密接な関係にあることから、**全国的な水防災対策の推進を併せて要望**する。

2025年10月

愛 知 県 知 事	大 村 秀 章
名 古 屋 市 長	広 沢 一 郎
名古屋港管理組合管理者名古屋市長	広 沢 一 郎
名古屋商工会議所会頭	嶋 尾 正
一般社団法人中部経済連合会会長	勝 野 哲

暮らしと経済を支えるあいちの水防災事業の推進

「危機に強い愛知」をつくるための河川・海岸事業

- 県民の生命・財産を守るとともに、被害を最小限に抑え速やかに社会経済活動を再開し日本の発展をリードする
- 国際競争力をリードするものづくり県である愛知県には、世界的に有数な自動車・航空宇宙産業が集積
- サプライチェーンの寸断による日本経済の生産性低下を防ぐ

あいちの特徴

○ **日本最大のゼロメートル地帯**
を始めとする低平地

広大なゼロメートル地帯には
・ 約80万人が居住
・ 年間の製造品出荷額が約9.6兆円

○ **人口の集積・都市化の進展**
・ 人口約750万人
(うち名古屋市233万人)
・ 人口密度全国第5位

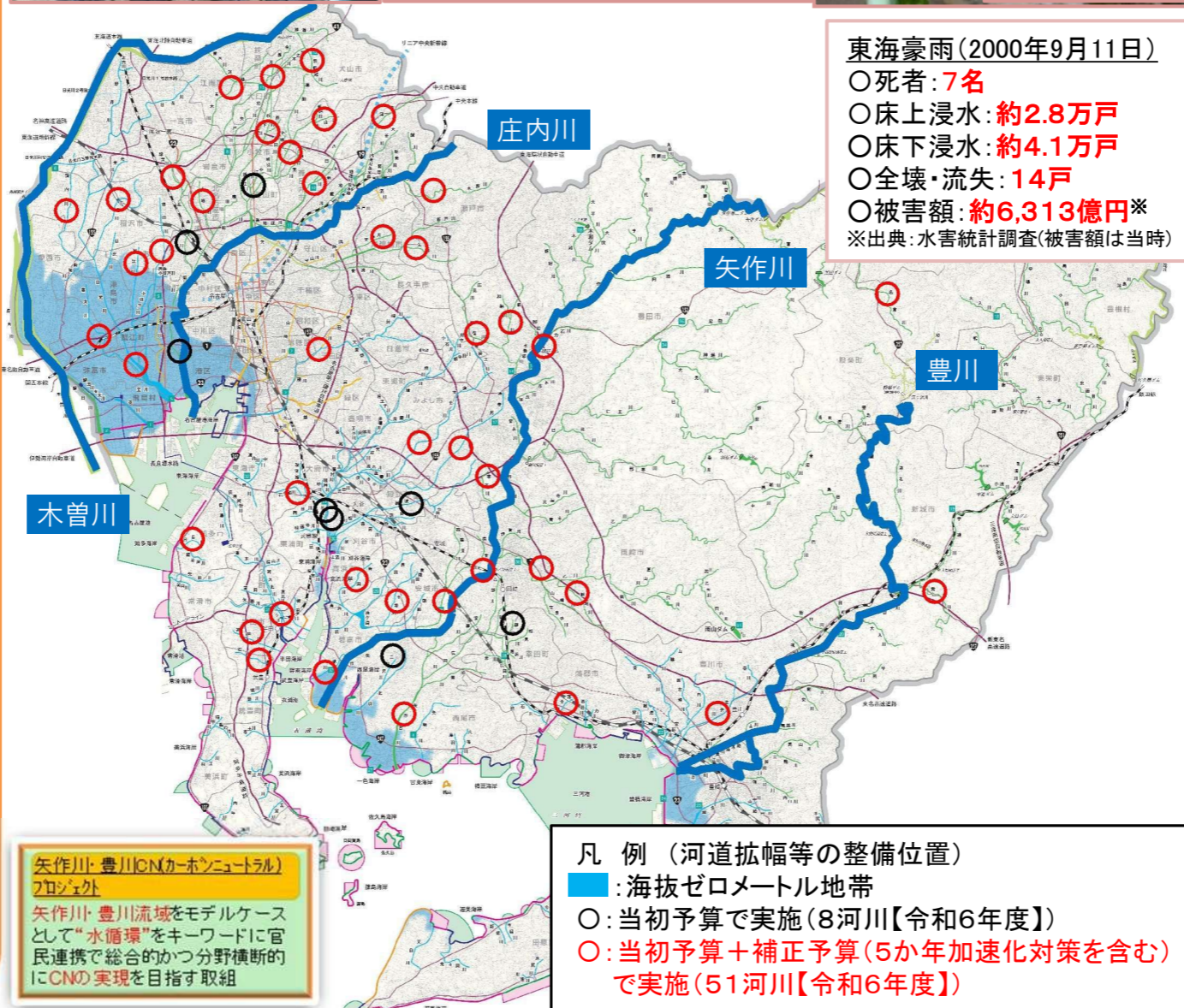
○ **製造品出荷額47年連続1位**
日本の国際競争力をリードする
「ものづくり県」



- オンリーワンやトップシェアなど**世界に誇るモノづくり企業** (愛知ブランド企業) が多数!
- **東西の交通の結節点**としての役割を担う!

切迫するリスク

- 気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害
- 南海トラフ地震を始めとした地震・津波災害



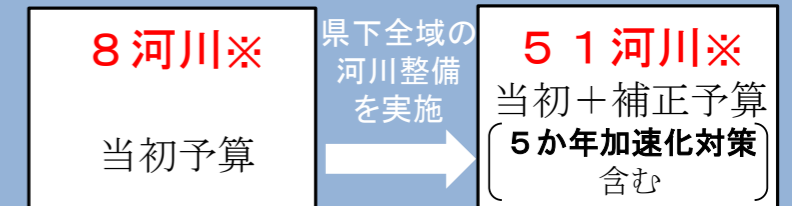
- ・ 県民の生命と財産に甚大な被害
- ・ 産業の機能停止
- ・ サプライチェーン寸断による長期間の影響

掲げる目標

- 県民の生命を最大限守る
- 日本全体への甚大な経済損失を防ぐ
 - ✓ 地域及び社会の重要な機能を維持
 - ✓ 産業・経済活動に係る被害をできる限り軽減し、速やかに社会経済活動を再開

5か年加速化対策

流域治水プロジェクトを加速



河道拡幅等の整備が着実に効果を発揮

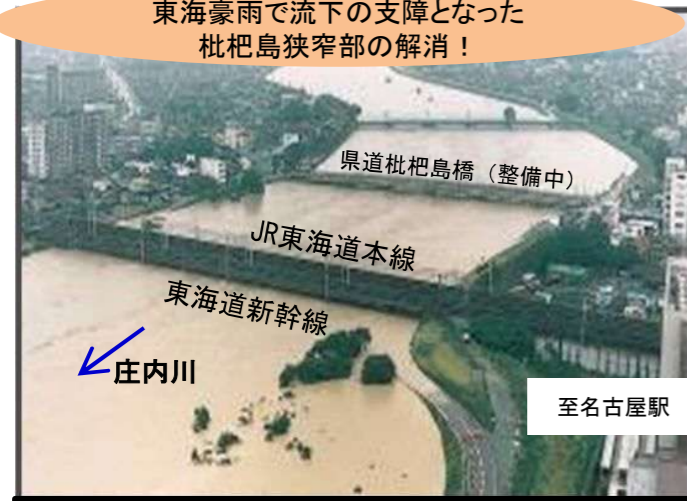
※令和6年度実績

防災・減災対策、
国土強靱化の取組を
切れ目なく推進

流域治水による事前防災対策の推進

①直轄事業

東海豪雨で流下の支障となった
枇杷島狭窄部の解消！



庄内川（国）特定構造物改築事業

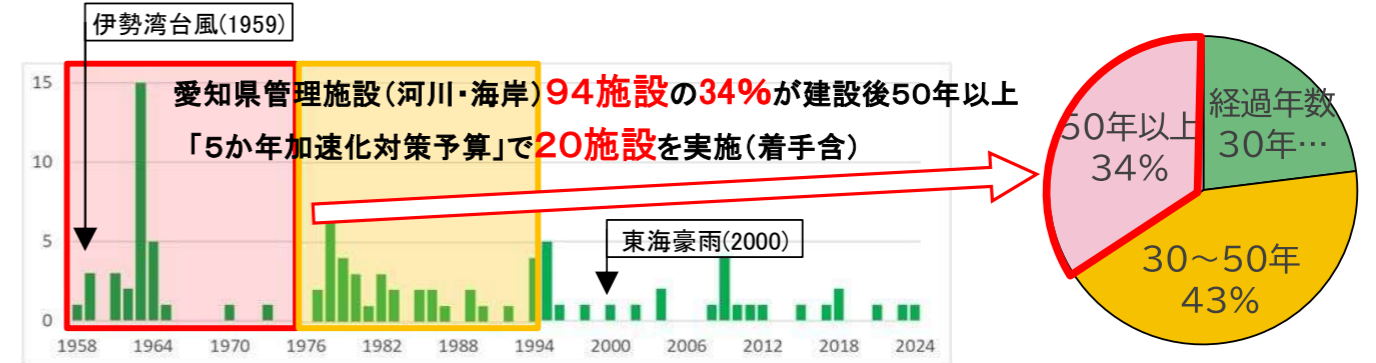
豊田市街区間の水位上昇要因（狭窄部）の解消！



矢作川（国）渡合地区（鶴の首）河道掘削

③河川・海岸施設の老朽化対策

- 伊勢湾台風以後に建設され老朽化が急速に進む施設の老朽化対策を進める
- すべての施設の長寿命化計画を作成し、安定的・継続的な設備更新を実施



④南海トラフ地震に備える地震・津波対策

- 巨大地震から県民の命と生活を守るため地震・津波対策を強力に推進

津波による被害の軽減！

地震後も防災インフラとしての機能を維持！

- ・日光川や豊橋杉山海岸始め河川・海岸堤防の液状化対策を推進

- ・石川水門（河川）始め河川・海岸施設の耐震対策を推進

豊橋杉山海岸



石川水門



⑤流域における治水対策

- 特定都市河川の指定の更なる拡大
- 河川整備に加え、市町村による流域貯留施設などの流域対策を支援
- 地域特性に応じてハード・ソフト対策を一体的計画的に推進

⑥住民の速やかな避難に結びつくソフト対策

- 水防災協議会の取組方針の推進
- 洪水浸水想定区域図等の水害リスク情報や河川水位等の提供
- 防災教育の支援
- 市町村のハザードマップ作製の支援

②河川事業

- 「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づく事前防災対策を強力に推進

河川の整備

「河道拡幅」「河床掘削」「橋梁改築」を実施し、浸水被害を軽減！



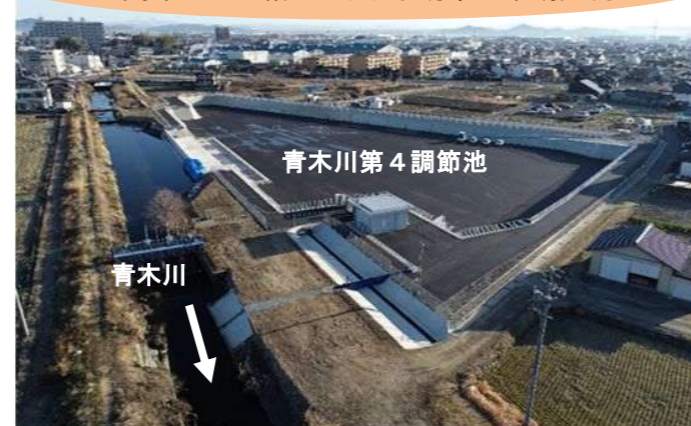
鹿乗川

中上流部の対策

市街地における地下放水路の整備！



調節池の整備により治水効果の早期発現！



青木川第4調節池

青木川



狭窄部

名鉄名古屋本線

五条川

21.6% (2024年度末整備率)

洪水対策として河川整備計画に位置付けられた河川延長L ≒ 370km